

練馬区の将来像を考える区民懇談会報告書に対して寄せられた意見・質問等

※No.の丸付き数字は、1件の意見・質問に複数の項目が含まれている場合に付番した。

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
15①	20.3.24 (報告発表会)	区民生活分野	お題目は結構なこと—その羅列であって—具体的なものがない。例えばシニア年代(団塊世代)の活用—どういう方法で。	
1	20.3.24 (報告発表会)	健康福祉分野	「身近な地域において、総合的な情報案内、相談の入口をつくる」大変いいことだと思いますので十年後といわず、今から、できる範囲で段階的に作っていただきたいと思います。	
2	20.3.24 (報告発表会)	健康福祉分野	いつでも・誰でも相談できる「つなぎの役目をする相談の入口」を10年後にほしいと思うし、つくっていききたいと思います。…と報告ありましたが、10年後といわずさっそく区と協議して、すぐにでも実行してやって欲しい。また、やれるのではないかと。	
20	20.3.27 (報告発表会)	健康福祉分野	大変感じるものがありました。緊急の場合すぐ相談できるような専門の窓口を作って欲しい。	
21	20.3.27 (報告発表会)	健康福祉分野	総合相談窓口の人材について。総合人材のスタッフはかなり能力のある人材をそろえていく構想となっていますが、窓口の実施主体はどのような方々となるのでしょうか？また、既存の相談窓口との関係について(案内をするにとどめるのか)はどのようにお考えでしょうか？	<p>(区民懇談会委員が回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の行政の相談窓口に何があるのか把握し、かつ社会福祉士なみあるいはそれ以上の高度な専門性を持つ人材を想定している。行政職員も行政サービスを熟知している人材として出向してほしいと考えている。スタッフの賃金体系など具体的な点までは検討していないが、相談を受けて整理し、既存の相談窓口につながるまでには実現したい。 <p>(区民懇談会委員が回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体は行政ではなく、新たに設立する組織が担い、行政は全面的に協力し、民間企業、NPOも協力していくイメージである。 ・専門性が即スタッフに求められる資格ではない。相談者に寄り添って相談者の目線で地域のリソースを選択できる能力がある人をイメージしている。 ・また、専門性が必要な相談と、引越してきたばかりの人が持つ不安の解消など専門性を必要としない相談の両方に対応できる人材を揃えたい。

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
42	20.3.18 (メール)	健康福祉分野	健康福祉分野分科会報告書 事業b-1「利用者の視点での活用可能な既存資源(人・もの・場所)の整理と見直し」について サービス提供の視点もちろん必要だが、サービス利用を円滑にするための基本的なシステム作りが未だになされていないため、サービスメニューや場の提供をしても利用までに結びつかない現状がある。障害のある区民一人ひとりの実態とニーズから様々なサービスが必要となる。しかし、教育・福祉・医療などを結びつけ一人ひとりのアセスメントをするシステムがないため、その人を総合的に捉えることができず、サービス提供をしている人たちがその人の一面しか知らないというのが実態であると思う。行政的には効率的に、利用者としてはより豊かな生活や自己実現ができるようなシステムがまずは必要ではないか。相談窓口も必要ではあるが、区民ニーズが把握できる恒常的でなおかつ一貫性のあるシステムの構築を望む。	
3	20.3.24 (報告発表会)	健康福祉分野	障害者向けの高度・高等教育については、区の政策が未だはっきりとしないように思うが、職業人となることを前提とした具体的な進学支援等、分野の枠を超えた支援策の検討及び実行が必要であるように思う。	
33①	20.3.27 (報告発表会)	健康福祉分野	病気の予防対策として人間ドックの活用支援	

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
6①	20.3.24 (報告発表会)	教育分野	小学校からの学校選択をして、子どもに何をさせたいのか。－教育の(2)を見ると教育の市場化に進んでいくように思う。思春期までにどんな体験ができ、自分を表現できる大人になれるかが大事だ。	(区民懇談会委員が回答) ・分科会では、アイデア全てを審議しつくしたわけではなく、報告書には多くのアイデアを掲載している。「小学校からの学校選択制の採用」はそれらのアイデアの1つであり、分科会でも、「小学校からの学校選択制の採用」は必要という意見があれば、中学校からでよいという意見もみられた。 (区民懇談会委員が回答) ・「小学校からの学校選択制の採用」は、教育分野分科会の中でも学校教育というテーマの中で、学校を良くしたいという考えから出てきたアイデアであり、地域と学校との関わりを突き詰めたものではない。 ・地域のコミュニティが崩れるとの指摘もあるが、学校教育を良くしたいという立場、子どもを学校に通わせる親の立場からみれば、小学校からの学校選択制という選択肢があっても良いのではないか。
22①	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	地域の教育力を高めていくことと、小学校の学校選択制導入は矛盾するのではないのでしょうか。選択制導入により、小規模校→より一層の小規模化が進み、すぐに学校統廃合につながり、また、地域の教育力自体も低下していくのでは？	(区民懇談会委員が回答) ・「小学校からの学校選択制の採用」は、教育分野分科会の中でも学校教育というテーマの中で、学校を良くしたいという考えから出てきたアイデアであり、地域と学校との関わりを突き詰めたものではない。 ・地域のコミュニティが崩れるとの指摘もあるが、学校教育を良くしたいという立場、子どもを学校に通わせる親の立場からみれば、小学校からの学校選択制という選択肢があっても良いのではないか。
23	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	区民懇談会 教育分野分科会報告書のp17の一番上に出ている事業a-5:小学校からの学校選択制の採用について、初めの発表時に、委員は家庭、学校、地域社会の連携が大切と言っているが、小学生時からこのような差別をしたら(あの学校は良くない・・・など)決して良いことはない。地域に友達もいない、成長しても地域社会の連携など身につけられない。現在実施している区があっても、このような制度は止めるべきだ。私はこの地区に70年も住んでいるので地域のことがよく分かり、小、中時の友人も現在おり、地域社会に溶け込んでいる。要は小学校時には区が率先してこのようなことをしないことだ。	(区民懇談会委員が回答) ・「小学校からの学校選択制の採用」は、教育分野分科会の中でも学校教育というテーマの中で、学校を良くしたいという考えから出てきたアイデアであり、地域と学校との関わりを突き詰めたものではない。 ・地域のコミュニティが崩れるとの指摘もあるが、学校教育を良くしたいという立場、子どもを学校に通わせる親の立場からみれば、小学校からの学校選択制という選択肢があっても良いのではないか。
29	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	学校の将来像、小学校からの学校選択制に反対します。どこへ行ってもいい制度、一見、自由、個性の尊重、学校の充実を目指すように見えますが、反面、地域を選べるということは地域社会を分裂してしまう。地域の子が育たなくなるマイナスが大きいと思う。地域学習と矛盾。	(区民懇談会委員が回答) ・「小学校からの学校選択制の採用」は、教育分野分科会の中でも学校教育というテーマの中で、学校を良くしたいという考えから出てきたアイデアであり、地域と学校との関わりを突き詰めたものではない。 ・地域のコミュニティが崩れるとの指摘もあるが、学校教育を良くしたいという立場、子どもを学校に通わせる親の立場からみれば、小学校からの学校選択制という選択肢があっても良いのではないか。
22②	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	地域の子育て支援の核として、既存の公立保育園を拡充していこうとしないのはなぜでしょうか。	(区民懇談会委員が回答) ・「小学校からの学校選択制の採用」は、教育分野分科会の中でも学校教育というテーマの中で、学校を良くしたいという考えから出てきたアイデアであり、地域と学校との関わりを突き詰めたものではない。 ・地域のコミュニティが崩れるとの指摘もあるが、学校教育を良くしたいという立場、子どもを学校に通わせる親の立場からみれば、小学校からの学校選択制という選択肢があっても良いのではないか。
22③	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	習熟度別学習が有効だという根拠は何なのでしょう。	(区民懇談会委員が回答) ・「小学校からの学校選択制の採用」は、教育分野分科会の中でも学校教育というテーマの中で、学校を良くしたいという考えから出てきたアイデアであり、地域と学校との関わりを突き詰めたものではない。 ・地域のコミュニティが崩れるとの指摘もあるが、学校教育を良くしたいという立場、子どもを学校に通わせる親の立場からみれば、小学校からの学校選択制という選択肢があっても良いのではないか。
22④	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	どうして、国語、道徳などが重視されるのでしょうか。(「特色ある練馬区の教育」として)	(区民懇談会委員が回答) ・「小学校からの学校選択制の採用」は、教育分野分科会の中でも学校教育というテーマの中で、学校を良くしたいという考えから出てきたアイデアであり、地域と学校との関わりを突き詰めたものではない。 ・地域のコミュニティが崩れるとの指摘もあるが、学校教育を良くしたいという立場、子どもを学校に通わせる親の立場からみれば、小学校からの学校選択制という選択肢があっても良いのではないか。
22⑤	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	(感想)教育分野の方の回答で、心の教育として、“地域の神職の方の活用”という発言があったのですが、公教育に宗教関係の方が関わる(教育内容への関与)のは公教育の宗教的中立性(教育基本法旧9条、現15?条)に反する行為だと思いますので、撤回していただければと思います。	(区民懇談会委員が回答) ・「小学校からの学校選択制の採用」は、教育分野分科会の中でも学校教育というテーマの中で、学校を良くしたいという考えから出てきたアイデアであり、地域と学校との関わりを突き詰めたものではない。 ・地域のコミュニティが崩れるとの指摘もあるが、学校教育を良くしたいという立場、子どもを学校に通わせる親の立場からみれば、小学校からの学校選択制という選択肢があっても良いのではないか。

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
3	20.3.24 (報告発表会)	教育分野	障害者向けの高度・高等教育については、区の政策が未だはっきりとしないように思うが、職業人となることを前提とした具体的な進学支援等、分野の枠を超えた支援策の検討及び実行が必要であるように思う。	
4	20.3.24 (報告発表会)	教育分野	各分野の委員さんの発表には感動を覚えました。今回のテーマは将来像を考えることでしたが、小生は現在、某町会の責任者ですが、将来を考えるのもよろしいでしょうが、現在の人間関係の希薄さが心配です。町会に入る人は半分(中にはメリットがあるのです?)以下、防災訓練、月一回の道路清掃、暮れの火の用心等、なぜ小学生持ちの父母などが参加しないのか、親の教育をしない限り、現在の小学生が大きくなって親と同じであろうと思います。催しをするときに一言、子どもに行ってみようと言って連れて来るくらいもできないのだろうか。朝の挨拶もできない親と子、将来が不安である。	
5	20.3.24 (報告発表会)	教育分野	(仮称)ふるさと文化館を生涯教育センターに改革してください。	
24①	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	有能な教員の独自採用・養成や小学校の教科担任制の採用に関して、杉並区の「師範塾」のような、しっかりした制度を確立し、区が立ち上げた「〇〇カレッジ?」の中に組み込むと良いと思う。	
24②	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	中央図書館を新たに造るのでなく、今ある光が丘図書館にその機能を持たせて充実していけば十分である。	
25	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	今、子どもたちを取り巻く環境は大人によって朝から晩まで学校・塾・お稽古・クラブなどと管理されています。もっと子どもに自由な時間と大きな広場を求めます。見逃してくれる大人のあたたかい目としっかり諭す目が大事だと思います。	
26	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	ボランティア活動をする方がなかなか増えません。教育が大切と考えます。認知症を始めとする、障害の理解、促進をするための授業を取り入れるという方向はいかがでしょうか。その上で、体験学習をするというのは。	(区民懇談会委員が回答) ・奉仕活動については、「奉仕活動の支援体制の構築」「奉仕活動の推進」という2つのアイデアを提案しているが、地域で奉仕活動に実践している多くの団体や個人に協力していくこと、あるいは夏休みなど長期休暇を利用して、国有林の間伐など山間地域への合宿を行うなど環境教育も交えたアイデアが出された。

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
27	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	練馬の将来は「子どもの学力・心の教育を推進」とありますが、学力は学校で教育できても、心の教育を学校で行うのは、どうでしょうか。道徳教育とどう関連するのか、具体的なイメージがわかりません。ご説明ください。	(区民懇談会委員が回答) ・心の教育は、学校だけでなく、地域や家庭での教育も求められている。学校教育で、「道徳教育の充実」が位置づけられているが、ただ、授業時間を増やすということではない。家庭や地域など様々な場所で多角的に進める必要があると考えている。 ・また「伝統文化・芸能教育等特色ある教育の充実」を提案しているが、華道や茶道などの伝統文化を学ぶ機会を学校のクラブや授業に取り入れることを想定している。また、「子どもたちに対する地域学習の実践により豊かな心を育む」と提案しており、僧侶などによる知的、宗教的あるいは哲学的な面での地域の中での教育に期待している。 (区民懇談会委員が回答) ・「道徳教育の充実」に関して、「いじめや不登校問題に対して子どもたち自身も取り組むことで、心の教育の実践を図ります」とうたっていることを補足させていただく。
28	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	空教室のない小学校にするために共働きの方の子育て支援について。	
30②	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	教育分野のアイデアについては、個々に検討が必要です。他区・地域での先行事例からの「アイデア」が多すぎます。報告書を根拠に、「既定方針」化して進めるのには問題が大きいと思います。懇談会の資格・権限、報告書の区政での位置づけ・権限はどのような程度のものか？－明確にして欲しい。	
15③	20.3.24 (報告発表会)	教育分野	都立高で奉仕の時間年間35時間ある(一単位)ご存知でしたか。具体的に高校と話し合ったことありますか？	
41②	20.3.27 (報告発表会)	教育分野	教育分野において、食育をどのように位置づけているか？	(区民懇談会委員が回答) ・食育については、練馬区の特徴である農業を活かし、農家と協力して給食や各教科の授業で、また、地域教育において様々な形で取り入れていくのがよいという議論がされた。 (区民懇談会委員が回答) ・食育に関しては、知育、徳育、体育、食育ということで様々な面で教育を進めるという趣旨である。練馬大根などの地域資源を通じて、様々な関係主体が連携して教育に取り組む形を想定している。

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
6②	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	水循環マスタープランとは、例えばどんなことを考えているのですか。	(区民懇談会委員が回答) ・野川に関しては、東京都の土木技術センターを中心として様々な研究を進めており、例えば浸透ますについては水量の回復に大きな効果があったことがわかりつつある。今後とも調査を進めていくことが決められているため、練馬区でも地下水の状況や、何処で雨水を浸透させれば何処の水量を回復させることができるかといったことを調査する必要があると思う。そのうえで、区が中心となって、区民団体や大学などとの連携を図りながら、方向性を検討していくということが、マスタープランの構築内容として想定していることである。
11②	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	b)b-2練馬区水循環マスタープランの作成について、具体的な考え方があれば述べていただきたい。	
31②	20.3.27 (報告発表会)	環境まちづくり分野	水循環マスタープランの具体的なことが分かりません。各戸の駐車スペースや駐車場経営も水を吸い込む造りにする。雨水を各戸・会社などに補助して中水に利用するようにして欲しいです。既に墨田区では実施しています。	
12	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	湧水の川である白子川の源流が、この冬、完全に干上がりました。生き物や人々にとって、うるおいのある水辺などは遠い世界です。どうすれば、このような事態が改善できるでしょうか。行政や区民ができることはどんなことがありますか？	
15②	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	「緑の東京10年プロジェクト」「石神井川流域連絡会」をご存知ですか。川には区境はないのです。現実に活動している人々へのヒアリングはされましたか。	
15④	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	石神井池ーゴミ捨て場となっていたーご存知ですか。ヨシの刈取りよりきつい作業だった。	
15⑤	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	生ゴミの堆肥化ーほんとー誰が使ってくれる。枯葉の腐葉土システムが始まったばかり。	
15⑥	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	自転車は凶器の状態ー子ども、ママチャリが一番こわい。(一時停止、右左折、右側走行、これを先にやって欲しいのですが。)	
7	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	エネルギー有効利用・省エネのところで地球温暖化対策を入れてください。	(区民懇談会環境まちづくり分野委員が回答) ・地球温暖化と同時に、ヒートアイランド現象も忘れてはいけな。それを防ぐためには、緑でまち全体を覆うことが必要であると思う。 (区民懇談会区民生活分野委員が回答) ・ヒートアイランド現象を防ぐためには、みどりを線で結ぶことが重要だという考えに至った。道路には全て街路樹を植え、沿線の住宅では屋上緑化や小さな緑を増やす取り組みを進め、公共施設や大きな集合住宅には大きなみどりを蓄えるようにするなど、緑を防波堤とする。このように練馬区を緑で覆うことが、ヒートアイランド現象を防ぐ手だてではないかと思う。

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
8	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	歩行喫煙の禁止はできないものか、駅周辺だけでも。相変わらず吸殻のポイ捨てが多い。	
9	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	「みどり30」は練馬区のすばらしい環境創造計画だと思いますが、練馬区の将来像の中で、どう位置づけるのでしょうか。	
10	20.3.24 (報告発表会)	環境まちづくり分野	区民農園、市民農園が現在区内に多数ありますが、これは農家の提供で作られています、高齢化にともない、農家が遺産相続等で10年後には無くなってしまいかも知れない。対策を検討する必要あり。	
31①	20.3.27 (報告発表会)	環境まちづくり分野	区内の既存・計画の道路網について、分科会では検討されたのでしょうか？京都議定書のCO2削減を考えると、車のための道路づくりは「誘発交通」で、住む環境を悪化させるのです。外環の大泉ジャンクションの近隣小・中学校への影響、青梅インターの排気ガス等の区民の側からの検討をしてください。	
32	20.3.27 (報告発表会)	環境まちづくり分野	練馬区西大泉5.6丁目(武蔵野商店街近辺)では、いまだ具体策もなく交通不便を強いられている。コミュニティバスや乗り合いタクシー、地下鉄等の交通不便解消策を検討・推進して欲しい。	
33②	20.3.27 (報告発表会)	環境まちづくり分野	交通渋滞とCO2減少の対策として外環道路の早期実施	
33③	20.3.27 (報告発表会)	環境まちづくり分野	落書防止推進	
35	20.3.27 (報告発表会)	環境まちづくり分野	「自転車のまち・練馬」の実現を希望	

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
13	20.3.24 (報告発表会)	全般	<p>ご苦労様でした。</p> <p>①当然落着くべきところに落着いたという感じ。当然という気持ちと、もう一つインパクトがないのが残念という感じ？それとも盛り込みすぎか？</p> <p>②文章が長く、重複が多い。もっとコンパクトに。</p> <p>③ユニークで練馬らしい施策案を盛り込んでください。</p>	
14	20.3.24 (報告発表会)	全般	<p>・それぞれの発表が素晴らしく、このような機会を持つことの素晴らしさを感じました。</p> <p>・練馬出身者からの発想が多く、地方出身者にも魅力ある町という視点をもっとあればいいと思いました。県人会の充実、地方物産展の拡張、アニメの活用などにより、「地方の人が安心して暮らせる東京」をアピールして欲しいと思います。</p> <p>・地域と学校の協力は不可欠。でもその前提として、町会入会率を上げること考えないと、10年後町会に誰も入らなくなるかも。</p>	
16	20.3.24 (報告発表会)	全般	<p>最近、バリアフリーからユニバーサルデザインと言われていますが、近日の新聞にもユニバーサルデザインを法律化することが出ていましたが、どのような取り組みをお考えですか。</p>	<p>(区民懇談会委員が回答)</p> <p>・環境まちづくり分野では、「誰もが移動しやすいまち」という将来像を掲げているが、「誰もが」という中にユニバーサルデザインという考え方を取り入れている。個別の取り組みではバリアフリーをうたっているが、それを進めることで、まず各拠点の移動のしやすさが達成され、それをつなげることで、ユニバーサルデザインが実現できるのではないかと考えている。</p>
17	20.3.24 (報告発表会)	全般	<p>今後は、公共や公共性の強い施設・設備を将来の文化遺産となるようレベルアップすべきだと思います。例えば、建築学会、日本デザイン学会、土木学会の賞や、Gマーク賞を受賞するようなレベルの施設・設備を造る。</p>	
18	20.3.24 (報告発表会)	全般	<p>現在の練馬区基本構想では、構想の根本が明示されています。即ち「この構想の根本は、憲法をくらしに生かすことを基調にして、区民一人ひとりの基本的人権を尊重し、平和と民主主義を守り、真の住民自治を確立することにある。」</p> <p>新基本構想は、これを継承するのでしょうか。それとも変更するのでしょうか。変更するとすれば、それを示してください。</p>	
19	20.3.24 (報告発表会)	全般	<p>報告会お疲れさまです。</p> <p>①大泉地区への総合病院の設置方針はあるのでしょうか。</p> <p>②学校統廃合等で空き校舎の有効利用についての方針はどう進んでいるのでしょうか。</p>	

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
29	20.3.27 (報告発表会)	全般	箱ものづくりには反対。借金を子どもたちに負わせないで欲しい。	
30① ③	20.3.27 (報告発表会)	全般	区立中学校の一教員です。将来像を考えるこうした取り組みがされていることが、ほとんど現場には知らされていません。 ・全般にわたりますが、それぞれの分野で、仕事として関わっている教員や区の職員は、「当事者」であるのに、なぜ「専門性」を持つ人たちに意見を求めようとならないのか？残念ながら、それぞれの課題認識が断片的、一面的なように見えます。 ・委員の名簿はHPに出っていますが、肩書き、役割は出ていません。どうの方がどうの資格で委員になっているのか開示して欲しい。	(事務局が回答) ・懇談会の検討を踏まえ、学識者を含めた審議会を4月に設置する予定である。審議会には、懇談会から10名の委員に参加していただき、1年間議論してもらう予定である。審議会の答申を踏まえ、区として基本構想案を作成し、議会にお諮りする予定である。 ・短い期間で、幅広く情報を集めて深掘りした議論をすることは難しい面があった。
34	20.3.27 (報告発表会)	全般	いろいろな事業の提案が出されているが、区内にはいろいろな考えの方や文化や生活習慣の異なる人が暮らしている。違いを認めあい、話し合いによってより良い方向に進んでいくことが良いと思うが、町会・自治会や学校教育、みどり(義務化)など、ところどころに、全ての人の人権を保障し認め合うということとは異なるように思えるところがあり、非常に気になる。	
35	20.3.27 (報告発表会)	全般	練馬区には多くの外国人が住んでいらっしゃるが、その方々への配慮が欲しい。(人材活用、あるいは国際親善のレベルで)	
37	20.3.27 (報告発表会)	全般	区民懇談会の委員の方々の各分野にわたる「練馬区の将来」ビジョンは、様々な角度・視点からのまとめとなっており、意気込み・熱意なども伝わってきます。短期間で本当に努力されたこと伺えます。検討し、話し合う期間や幅広い区民の参加、共通認識に向けての取り組みは、まだまだ足りないのでは、と感じます。区の将来を見据えるなら、もっと住民とともに話し合いを重ね、進めていく必要があると思います。また、気になった点として、基本構想の土台ともなる憲法の位置づけはどうなっているのでしょうか。	
38	20.3.27 (報告発表会)	全般	町会で努力しているが、個人情報の問題か町会に参加しない人がいる。我が町会で町会参加は65%くらいだと思う。区でも区報等で町会参加を勧めてもらいたい。	
39	20.3.27 (報告発表会)	全般	①見かけ、形にとらわれないこと。問題は内容、コンテンツである。金をかけるより頭を使うことが大切。 ②情報化時代、パソコン、電子メールを効果的に使う。(一部発表にもあるが)教育・普及・何でも相談サイト(民間で運営、人材確保)	

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
40	20.3.27 (報告発表会)	全般	区民生活(緑)と環境まちづくり(緑・水)＝容積率ダウンを考えるべき時期ではないか。水については建てづまりによる雨水の下水流出を防ぐ雨水ます設置の促進、浸透性舗装の普及、安全・安心のまちづくりと小・中学校の自由選択制の矛盾をどう考えるか。ゴミサーマルリサイクルの問題についてどう考えるか。	
41	20.3.27 (報告発表会)	全般	①区民生活分野の(農緑を育むまち)と環境まちづくり分野の(みどり文化の薫るまち)とを調整する必要があると思うが？	(事務局が回答) ・区民生活分野分科会では、農業を中心に、環境まちづくり分野分科会では緑を中心にまとめていただいた。新基本構想の検討の中では、2つの将来像の調整が必要と認識している。
43①	20.3.25 (メール)	全般	報告会の感想 昨日の報告会、とてもよかったです。 それぞれに素晴らしい内容でしたが、まず、区民の有志がこうやって、みんなで将来の練馬をどうしていこうか、みんなで話し合うという機会はとても素晴らしいもので、自分たちの街は自分たちで良くしていかなければならないという、強い思いを感じました。各報告は素晴らしかったのですが、僕が聞いていて、2点だけ、ちょっと足りないかなという部分を感じましたので、それをここでは書いてみたいと思います。	
43②	20.3.25 (メール)	全般	まず一つ目は、★アニメのふるさとという特徴を活かすということ。 練馬区からは多くのアニメ作品が生まれていて、アニメをもっと上手に活用して欲しい。例えば、この基本構想を、一般の区民に周知させるときにも、子どもでも分かりやすいスローガンが必要だと考えます。そのときに、「将来の練馬はみんなで作る。この街はヒーローが生まれたヒーローの街。だからだれでもこの街ではヒーローになれる」というような、「ヒーローの街」だから・・・というようなスローガンってあるべきだと思いました。環境の問題、福祉の問題、いろんなテーマがありました。それら一つひとつをイメージとして結びつけるためにも、アニメの活用、練馬ならではの部分をもっと出して欲しいなと思いました。区内のマンホールひとつとっても、アニメのキャラクターが入っていたら、それだけでも区民にとって誇りになるだろうし。それと、映像関係者が多いので、もっとロケ支援、映像関係者に協力的な練馬という部分も出して欲しかったです。映画やCMなどで、身近な街の風景が出てくるとうれしいものだし、自分の街に対する愛着も増すと思います。せっかく映像関係者が練馬には多いのだから、支援し、協力し、活用することを推し進めるべきだと思いました。	

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
43③	20.3.25 (メール)	全般	<p>もうひとつは、★地方出身者が多いという特徴をもっと活かして欲しい。</p> <p>練馬区民もいまや約70万人。で、おそらくその半分以上は地方出身者ではないかと想像されます。であれば、もっと地方出身者が多い街という部分の特徴を活かし、活用すべきだと思います。例えば、僕が提案するのは、「地方を元気にし、地方から安心してやってこれる東京」というイメージをアピールしたらどうかと思います。具体的には、県人会などの機能を強化して、例えば青森から練馬に学生が一人暮らしでやってきても、区内にいる青森県出身の方が、その学生をバックアップ支援できる体制を整えとか。練馬には、同郷の方が多くいるというだけで、地方からやってくる若者、そしてその親は安心だと思います。その上で、練馬でもすでに大変人気のある「地方物産展」を、県人会など、その地方出身者にどんどん主催してもらい、練馬の名物にしたらどうかと思います。地方の人が練馬に来れば、自分のふるさと自慢ができる。地方を元気にする練馬。さらに言えば、地方には、飲食店などを東京で出店したいという人がたくさんいます。</p> <p>ただ、土地勘のない地方の人にとって、東京で出店するとなると、戸惑うことが多い。でも例えば、練馬区でどんどん地方の郷土の匂いが強い店を誘致し、支援すれば、練馬区内にふるさとの匂いの強い店がたくさんできると思います。そして、そういう店に、その地方出身者が集まるようになれば、その人たちのコミュニティ強化になると思います。(ちなみに、北海道の人は、すすきので店を出したいと思っている人が多いですが、すすきのって、立地の悪いところでも家賃がやたら高い。そういう人たちに、東京で、それも練馬ならすすきのよりもずっと安い金額で出店できるよってことを知らせたら、たくさんやってくる人がいそうです。)練馬は、地方からたくさん人が集まってくる。そういう地方出身者が、もっと練馬に親しめる施策があればいいな—なんて考えてます。</p> <p>その2点が活かされたらいいなと思いました。</p>	
43④	20.3.25 (メール)	全般	<p>さらに言えば、今後増えるであろう外国人との関わり、増え続ける一人暮らし世帯の問題なども、基本構想としてどう考えていくか、考えていけたらいいなと思います。</p> <p>僕らの街は僕ら自身で良くしていかななくてはならない。それを考えるいいきっかけにもなるし、さらに様々な方のご意見を取り入れることができたらいいなと思いました。</p> <p>感動しました。ご苦労様でした。</p>	

No.	日程	分科会名	意見・質問内容	報告発表会における区民懇談会委員・事務局の回答
13④	20.3.24 (報告発表会)	全般	説明会は、夜の2時間だけでなく、休日の昼間、もっと時間をかけてやって欲しい。	
36	20.3.27 (報告発表会)	全般	①審議会委員の公募はないのですか。区民懇談会の公募には89名の応募があり、50人に絞ったような話があったが、区民懇談会に入れなかった方にも再度の機会があるべきではないでしょうか。 ②現在、新基本構想づくりを知っている区民はまだまだ限られていると思います。なぜ、基本構想をつくるのか共通認識を持つための学習会を審議会設置前に開催してはどうでしょう？	